

## 1学期終了～学び・心・からだともに健康で充実した夏休みに

1学期が終了します。一昨年度から続くコロナ禍の中の学校生活ですが、不満やあきらめを口にするのではなく、「どう充実させるか」と、厚東川中学校に関わるみなさんが前向きに対応してくださって、1学期が無事に終わられることに、心より感謝申し上げます。

終業式で生徒に話した一部を紹介します。

夏休みに、「自分をコントロールする力」を身につける努力をしてください。次の二つのことをぜひ、習慣づけてください。

一つ、「早起き」すること。「生活のリズムを整える」ことが全ての基本になります。夏休みですが、「早起き」し、規則正しい生活を続けてください。「時間を過ぎたけど、ゲームがいいところだからもうちょっと。明日休みだからいいか。」をやめてください。起きる時間と学力は、一見関係ないように思えますが、東大卒で、「頭がよくなる7つの習慣」の著者 清水章弘さんは「朝に強い生徒は受験にも強い傾向がある」というデータをもっておられます。「早起き」のメリットは①朝ご飯をしっかり取ることができる②朝勉強することが可能になる③ポジティブな気持ちになれる(脳科学的に朝は積極的で前向きな思考になる傾向あり)④自分を律する力がつくなどと、さまざまです。「朝を制する者は、自分を制す！」です。

もう一つは、「毎日1.01倍ずつ成長」すること。通知表をもらって、「よし次こそは頑張ろう！」とやる気になっていると思いますが、「なぜか続かない・・・」と思ったことはありませんか。気合いが入りすぎて、無理な計画を立てるからかもしれません。勉強を「マラソンの練習」に例えてみてください。少しずつ始めて、少しずつ成長すればいいのです。「1」に「1」を掛けるといつまでも「1」ですが、「1.01」を掛け続けていくと、大きな数字になっていきます。最初の1日目「1」でスタートしても、「毎日1.01倍」ずつ前進していけば、1年後には約38倍になります。数字が問題なのではなく、「毎日ほんの少しずつでもいいので、成長しよう」という意識を持って続けることが大切なのです。

8月19日まではほぼ毎日太鼓の練習もあります。本番で最高のパフォーマンスが発揮できるように、そして、2学期のいいスタートに向けて、心身共に整えておくためにも、ぜひ「早起きすること」「毎日1.01倍ずつ成長すること」を実行してくれることを期待しています。

7月27日から夏季体育大会が始まります。3年生にとっては中学校最後の試合になります。観戦者の制限がありますが、多くの方の支えをいただいています。これまでの成果を出し切れるように、頑張りを発揮してくれることを期待します。そして、『生徒全員が、事件や事故に巻き込まれず、元気に2学期を迎える』ことを心から願っています。

## 7月 生徒集会



6月30日、生徒集会を行いました。1学期最後の生徒集会ということで、全校スピーチテーマは「1学期を振り返って」でした。1年生は「勉強して分からないところを先生方に質問して、”わからない”をなくしていきたい。」、2年生は「頑張ったこと」として、テスト勉強と太鼓活動を挙げ、「計画的に勉強できた。また、1年生を教える立場として全国大会に向けて頑張っている。」と話しました。3年生は「時の流れは速い。受験生という実感もあり、勉強への意欲も湧いてきた。最後の部活動はもてる力を思いっきり出せるようにしたい。」と思いを伝えました。

## 人権教育参観実施 優しさあふれる厚東川中をつくろう

7月7日(木)、「人権教育参観日」を行いました。平日開催でしたが、多くの保護者の方にご参加いただきました。講演会では、ウォーターアートパフォーマーの堀川玄太さん、お母様の堀川貴美子さんを講師にお迎えしました。「以前は人と違って自分が恥ずかしかったが、自分を好きになることで前向きになれ、周囲に感謝する気持ちも生まれた。」と素敵なパフォーマンスを披露しながらお話をしてくださいました。相手の状況を想像し、自他の違いを受容しながら支え合う世の中を創っていく大切さを考えられた貴重な時間でした。



霧吹きの水を自在にを使って絵を描き出す堀川さん

授業では学校運営協議会委員さんにもご参加いただき、1年は「さかなのなみだ」、2年は「リスペクトアザーズ」、3年は「臓器ドナー」という題材をもとに、人権意識の高揚をねらった授業を参観していただきました。「狭い水槽に入れられたメジナは必ず1匹を仲間外れにして攻撃してしまう」という話をきっかけに、いじめに対してできることを考えた1年生。「アメリカから帰ってきた少年の目から見た日本の友人関係」について述べた文章をとおして、自分事として差別という問題について考えた2年生。「脳死臓器提供に肯定的なのに、自分の家族では受け入れられない」という矛盾した思いに悩む新聞の投書から、倫理観の違いや命に対する思いの違いを受け入れ、生命の尊さについて考えた3年生。各学年で一人ひとりが自分事としてしっかり考え、意見を伝えていました。



1年生



2年生



3年生

## 第2回厚東川中学校学校運営協議会「熟議」

7月7日の人権参観授業の後、「人を大切にする 人権が尊重される心豊かな厚東川中区」を実現するために、学校家庭、地域ですべきことについて、講演と授業での内容もふまえて、解決策を見つけるための「熟議」を行いました。今回は、生徒会役員も参加した熟議でした。



地域・保護者・生徒での話し合い



## 水やりボランティア

地域の上原久幸さん、上原幹雄さんがモニュメント下の芝生の水やりに来てくださっています。いつも気にかけてくださってありがたいです。



## 保護者の皆様へ

携帯電話の犯罪が年々巧妙化しています。また、携帯電話を通じての友達同士のトラブルも後を絶たしません。調査によると、保護者が子どもに携帯電話を持たせる理由は「家族と連絡を取るため」「安全確認のため」などですが、子どもが携帯電話を利用する主な理由は、「メールをする」「携帯サイトを見る」などです。保護者にはフィルタリングの利用を事業者申し出る義務もあります。ご家庭での管理と、利用のルールづくりを必ずお願いいたします。